

宮城県感染症発生動向調査情報

- 2019.1.14～2019.1.20 - 第3週 -

平成31年1月24日発行

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾 病	保 健 所							仙 台 市 患者数	宮 城 県 (含 む 仙 台 市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第52週	第1週	第2週	第3週
水痘		6 0.60					3 0.60	8 0.30	17 0.29	139	◎	◎	○	レ
流行性耳下腺炎			1 0.20					2 0.07	3 0.05	6				
感染性胃腸炎	31 6.20	39 3.90	15 3.00	13 6.50	6 2.00	23 4.60		158 5.85	285 4.83	717	◎	◎	◎	◎
手足口病								17 0.63	17 0.29	31	○	○	○	レ
伝染性紅斑	24 4.80	55 5.50	5 1.00		2 0.67	21 4.20	6 3.00	145 5.37	258 4.37	731	◎	◎	◎	○
突発性発しん		1 0.10	7 1.40		2 0.67	2 0.40		9 0.33	21 0.36	57	○	○	レ	レ
ヘルパンギーナ									0 0.00	0				
インフルエンザ	667 83.38	440 29.33	354 44.25	75 25.00	197 39.40	540 67.50	215 53.75	1,974 44.86	4,462 46.97	7,828	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱		4 0.40		1 0.50				5 0.19	10 0.17	41	◎	○	レ	レ
流行性角結膜炎		1 0.33							1 0.08	9				
急性出血性結膜炎									0 0.00	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45 9.00	34 3.40	11 2.20	2 1.00	2 0.67	57 11.40		47 1.74	198 3.36	444	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎				5 5.00				2 0.40	7 0.58	13				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	5 1.00	5 0.50	1 0.20		1 0.33			19 0.70	31 0.53	79	○	○	○	レ
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	0				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	1	1	1			4	◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向					
	川崎病	1	1											
	不明発しん症							5						

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 65例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

塩釜管内 男性1名
大崎管内 男性1名
栗原管内 女性1名
仙台管内 男性1名、女性1名
結核(無症状病原体保有者)
塩釜管内 男性1名
気仙沼管内 女児1名※
仙台管内 男性2名、女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(OUT)

仙台管内 女性1名

4類感染症: A型肝炎

仙台管内 男性2名

5類感染症: ウイルス性肝炎(B型)

仙台管内 女性1名
後天性免疫不全症候群
仙台管内 男性1名(第2週)
侵襲性肺炎球菌感染症
仙南管内 女性1名
石巻管内 女性1名(第2週)
水痘(入院例)
仙台管内 女性1名(第2週)
梅毒
石巻管内 男性1名
仙台管内 男性1名
百日咳
仙南管内 男性1名(第2週)
塩釜管内 男性1名(第2週)
石巻管内 女性1名
仙台管内 男性1名

※女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

〔伝染性紅斑〕

仙南、塩釜、大崎、石巻、気仙沼、仙台管内で警報レベルを継続中です。

〔インフルエンザ〕

仙南、石巻、気仙沼管内で警報レベルを継続中です。
大崎、登米、仙台管内で警報レベルを超えました。
塩釜、栗原管内で注意報レベルを継続中です。

〔A群溶血性レンサ球菌咽頭炎〕

仙南管内で警報レベルを継続中です。
石巻管内で警報レベルを超えました。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より
仙南管内 第3週採取分 ノロウイルスGⅡ群 4件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定		中 間 報 告	
	第52週採取分 (12.24～12.30)	第1週採取分 (12.31～1.6)	第2週採取分 (1.7～1.13)	
インフルエンザウイルスA(H1)pdm09	0件	0件	2件	
RSウイルス	2件	0件	1件	
Aデングウイルス	0件	0件	2件	

4. 今週のコメント

【インフルエンザ】

県内定点からの患者報告数は7週連続で増加し、県全体での定点医療機関あたりの患者報告数が警報発令基準の30人を超えました。今後さらに患者が増えることが予想されますので、帰宅時の手洗いの徹底、マスクの着用、加湿器の使用など引き続き感染予防に努めましょう。

【百日咳】

第1週から3週連続で患者報告がありました。百日咳はけいれん性の発咳発作を伴う急性気道感染症です。風邪様の症状から次第に咳が増え、この状態が長期間続くのが特徴です。患者の飛沫や接触で容易に感染し、重症化しやすいため乳児では特に注意が必要です。流行地では症状軽減のためにワクチン接種をお勧めします。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansan-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

